

高松支部 活動報告

1 研究主題

「確かな学力を育むための
分かる授業の創造」
～メディア活用の目的を明確にした
授業づくり～

2 はじめに

中学校の授業においては、物理的・時間的な制約を受けることが多く、実物に触ったり、直接体験をしたりすることが難しく、特に大規模校でその問題が指摘されることがある。そこで効果的な学習を行うための手段の一つとして、視聴覚教材、特に放送教材に注目し、高松地区のメディア教育部会で授業での活用方法について研究を進めた。

(4) 第3回主任研修会

(9月14日一宮中学校)

- ① 放送教育四国大会リハーサル
- ② グループごとの発表(中間発表)
- ③ NHK放送コンテストについて
・審査の様子と優秀作品の紹介



【主任研修会の様子】

3 研究の概要

(1) 第1回主任研修会

(4月26日一宮中学校)

- ① 昨年度の報告と今年度の計画
事業報告 会計報告
役員選出 事業計画
- ② 研究主題の決定
- ③ 研究組織の決
- ④ 研究計画の決定

(2) 第2回主任研修会

(6月14日一宮中学校)

- ① 研究主題と研究内容について
- ② 放送教育四国大会の発表等について
- ③ 授業でのメディア機器利用に関する
討議と情報交換

(5) 第4回主任研修会

(11月20日一宮中学校)

- ① NHK放送コンテストに向けての録音と
CD化の研修
- ② 放送教育四国大会の報告
- ③ 各グループごとの中間発表

(6) 第5回主任研修会

(2月20日一宮中学校)

- ① グループごとの本年度の成果と課題
について発表
- ② 24年度のまとめと反省
- ③ 25年度の研究、研修についての情報交
換と計画案

4 研究の内容

(1) 放送教育四国大会

① 研究内容

ア パソコン室での視聴について

NHKのオンデマンドはパソコンにより、個人が自分のペースで視聴することが可能である。しかしながら、パソコン室を自由に使うことが、他教科の授業との関係で難しいことが多く、また、ヘッドホンを用意しなければ音声を聞き取りにくいなど、制約が多いことが分かった。

イ 教室でのDVDの視聴について

放送教材の利用は、授業規律の確保や学習効果を考えたとき、中学校においては一斉視聴が望ましい場合が多いと結論づけた。

総合的な学習の時間(防災教育)
NHKスペシャル「釜石の“奇跡”いのちを守る 特別授業」
(1時間10分)



地震とそれによる火災を想定した避難訓練後に番組を視聴した。

出展:NHKスペシャルホームページ(<http://www.nhk.or.jp/special/detail/2012/0901/>)より

ウ 学習に適した放送教材について

民放を利用しようとした場合、題材に過剰な演出を加えていることが多く、インパクトを与えたい場合以外には利用が難しいことがある。

② 研究成果と課題

放送教材には、非現実であり直接体験ではないというデメリットがある反面、直接体験しにくい、またはできない事象について疑似体験ができる魅力がある。また、内容が整理されているため、視覚に訴えた学習の支援や印象的な学習内容の定着に活用が期待される。視聴覚機器の利用により、

ポイントとなる場面をじっくりと強調して示すことも可能である。

TVの地上デジタル化に伴い、放送教材を録画しDVD等のライブラリとして保存することが容易になった。今後、各中学校において録画機器等の環境を整備し、各教員が利用方法に精通し、番組を計画的に収録することで効果的な活用と利用を進めていきたい。

NHKの放送教材(実践事例)

1) 『10min. ボックス』

- ・古文、漢文、現代文(徒然草:効果的な情景を背景にしての朗読)
- ・職業ガイダンス(幼稚園教諭・消防官:具体的な体験談や必要な資格について)

2) 『道徳ドキュメント』

- ・ペットの命はだれのもの?(生命尊重)
- ・「ちがう」ことを「ふつう」に(他者理解)

3) 『プロフェッショナル仕事の流儀』

- ・絆(きずな)を最高のメスに 呼吸器外科医 伊達 洋至(総合 職場体験学習)
- ・言葉のチカラSP プロフェッショナルに勇気をくれた言葉(総合 職場体験学習)

4) 『仕事ハッケン伝』(40分)

- ・第参回 クロちゃん × 保育業界(総合 職場体験学習)

(2) 授業でのメディア機器利用

① 実践内容

人権講演会に向けての事前指導として、学年団で統一して道徳の授業を実践することで、各自の授業力向上を図るとともに、お互いに協力して教材研究に取り組む機会を設けた。また、オープンスクール期間を活用することで、保護者に道徳の授業を公開する機会とした。

題材の設定においては、人権講演会の内容が身体障害者に関するものであったため、生徒の興味・関心を高める教材を必要とした。そこで、読み物資料では、想像力

や感情移入の苦手な生徒が、内容を深く理解できないと考え、視覚や聴覚に訴えることのできる映像教材を設定した。



【授業風景】

知大会の発表を成功で終えることができた。26年度に放送教育徳島大会での発表を控えており、今後も研究と実践を積み重ね、メディア教育を盛り上げていきたいと考えている。

② 実践結果

これまで、読み物資料を用いて道徳の授業を行った際には、読むだけになってしまう生徒が数人おり、登場人物の心情を読み取れないことや、場面を考えられないことがあった。しかし今回、映像教材を用いたことで、これまでワークシートに向き合おうとしなかった生徒が、鉛筆を持って取り組む様子が見られた。このことより、視覚や聴覚に訴える映像教材が効果的であることを改めて実感した。

NHKの放送教材（実践事例）

1) 「”自分”に挑む」

（NHK Eテレ 道徳ドキュメント）

5 今後の課題

本年度は昨年度の3グループでの活動から2グループでの活動に変更したが、予定の成果を上げるまでにはいたらなかった。来年度は授業での実践はもとより、情報モラルを中心に保護者との連携を図ったり、クラウド化にともなう環境の変化に対応できるよう教員のスキルの向上に取り組んだりしたいと考えている。また北ブロックの熱心な取り組みにより、放送教育高